



2023年8月2日

各位

会社名 ヤマハ株式会社
代表者名 代表執行役社長 中田 卓也
(コード番号 7951 東証プライム)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長 杉山 啓子
(TEL 053-460-2210)

2024年3月期 第1四半期業績の概要と通期業績予想について[IFRS]

□ 第1四半期業績の概要 — 増収・減益 —

2024年3月期 第1四半期の売上収益は、為替の円安による影響もあり前年同期に対し3億円(0.3%)増加の1,062億円となりました。事業利益は、エントリーモデルの需要減が続きデジタルピアノの販売が伸び悩んだことや、ピアノの在庫削減のための生産調整などにより、前年同期に対し43億円(39.2%)減少の67億円となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、19億円(21.8%)減少の67億円となりました。

<事業セグメント別の売上収益・損益の状況>

● 楽器事業

売上収益 722億円(前年同期比 1.6%減) 事業利益 49億円(前年同期比 49.2%減)

アコースティックピアノは、中国で停滞していた販売が回復し増収となりました。電子楽器は、エントリーモデルの需要減が続き減収となりました。ギターは、日本や欧州で販売を伸ばし増収となりました。管弦打楽器は、減収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前年同期に対し12億円の減収となりました。事業利益は、47億円の減益となりました。

● 音響機器事業

売上収益 241億円(前年同期比 5.9%増) 事業利益 1億円(前年同期は4億円の損失)

個人向け事業は、市況の低迷が継続し減収となりました。法人向け事業は、業務用音響機器の需要および商品供給が回復し増収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前年同期に対し14億円の増収となりました。事業利益は、5億円の増益となりました。

● 部品・装置、その他の事業

売上収益 99億円(前年同期比 1.1%増) 事業利益 17億円(前年同期比 5.3%減)

電子デバイス、自動車用内装部品は増収となり、FA機器は減収となりました。

セグメント全体の売上収益は、前年同期に対し1億円の増収となりました。事業利益は、1億円の減益となりました。

□ **2024年3月期 通期業績予想** — 売上収益は据え置き、利益を下方修正 —

デジタルピアノのエントリーモデルの販売回復の遅れなどを織り込む一方で、為替レートの見直しもあり、売上収益の予想は据え置き、利益の予想を下方修正いたします。

2024年3月期の通期業績予想は、5月9日に公表した売上収益4,700億円（前期比4.1%増）は据え置き、事業利益560億円（前期比22.1%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益420億円（前期比10.0%増）を事業利益500億円（前期比9.0%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益385億円（前期比0.8%増）に修正いたします。

*本予想における第2四半期以降の想定為替レートは、対USドル135円、対ユーロ145円です。

注1) 事業利益とは、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除して算出した日本基準の営業利益に相当するものです。

注2) 文章中の売上収益、損益の数値は、原則として億円未満四捨五入で記載しております。

以上

2024年3月期第1四半期業績資料 <IFRS>

ヤマハ株式会社

2023年8月2日

(1) 主要財務指標

	前期第1四半期実績 (’22/4月-6月)	第1四半期実績 (’23/4月-6月)	前期実績	当期予想	前回当期予想 (’23/5/9発表)
	23年3月期	24年3月期	23年3月期	24年3月期	24年3月期
売上収益	1,059億円	1,062億円	4,514億円	4,700億円	4,700億円
うち国内	254億円 (24.0%)	266億円 (25.0%)	1,086億円 (24.1%)	1,068億円 (22.7%)	1,103億円 (23.5%)
うち海外	805億円 (76.0%)	796億円 (75.0%)	3,428億円 (75.9%)	3,632億円 (77.3%)	3,597億円 (76.5%)
事業利益 ^(*)	110億円 (10.4%)	67億円 (6.3%)	459億円 (10.2%)	500億円 (10.6%)	560億円 (11.9%)
営業利益	111億円 (10.5%)	69億円 (6.5%)	465億円 (10.3%)	500億円 (10.6%)	560億円 (11.9%)
税引前利益	126億円 (11.9%)	100億円 (9.5%)	506億円 (11.2%)	530億円 (11.3%)	580億円 (12.3%)
当期利益 ^(**)	86億円 (8.1%)	67億円 (6.3%)	382億円 (8.5%)	385億円 (8.2%)	420億円 (8.9%)
為替レート(決済レート) ^(***)	127円/US\$ 130円/EUR	136円/US\$ 140円/EUR	136円/US\$ 136円/EUR	135円/US\$ 144円/EUR	130円/US\$ 140円/EUR
ROE ^(***)	8.1%	5.8%	8.8%	8.2%	9.0%
ROIC ^(***)	7.0%	3.8%	7.8%	7.7%	8.7%
ROA ^(***)	5.9%	4.4%	6.5%	6.3%	6.9%
1株当たり利益	50.1円	39.6円	222.6円	227.8円	248.5円
設備投資額 (減価償却費)	23億円 (32億円)	68億円 (34億円)	205億円 (131億円)	335億円 (145億円)	335億円 (145億円)
研究開発費	59億円	65億円	251億円	260億円	260億円
(キャッシュフロー)					
営業活動	△162億円	88億円	△148億円	815億円	920億円
投資活動	△19億円	△32億円	△216億円	△290億円	△290億円
フリーキャッシュフロー	△182億円	56億円	△364億円	525億円	630億円
期末在庫高	1,367億円	1,666億円	1,536億円	1,360億円	1,280億円
(要員数)					
国内	5,740人	5,663人	5,573人	5,600人	5,600人
海外	14,305人	14,440人	14,454人	14,800人	14,800人
正社員計 ^(***)	20,045人	20,103人	20,027人	20,400人	20,400人
正社員外要員(期中平均)	8,780人	7,718人	8,225人	7,700人	8,000人
(事業別売上収益)					
楽器	734億円 (69.3%)	722億円 (68.0%)	3,027億円 (67.1%)	3,180億円 (67.7%)	3,180億円 (67.7%)
音響機器	228億円 (21.5%)	241億円 (22.7%)	1,076億円 (23.8%)	1,120億円 (23.8%)	1,120億円 (23.8%)
その他	98億円 (9.2%)	99億円 (9.3%)	411億円 (9.1%)	400億円 (8.5%)	400億円 (8.5%)
(事業別事業利益 ^(***))					
楽器	96億円	49億円	362億円	390億円	430億円
音響機器	△4億円	1億円	35億円	60億円	80億円
その他	18億円	17億円	62億円	50億円	50億円

(2) 売上収益の内訳(事業別、地域別)

24年3月期 第1四半期累計実績 (’23/4月-6月)	楽器		音響機器		その他		合計	
	売上収益	前期比 ^(**)	売上収益	前期比 ^(**)	売上収益	前期比 ^(**)	売上収益	前期比 ^(**)
日本	160億円	100%	58億円	103%	48億円	127%	266億円	105%
北米	167億円	79%	55億円	93%	23億円	110%	244億円	84%
欧州	128億円	93%	69億円	109%	0億円	60%	198億円	98%
中国	136億円	121%	13億円	107%	15億円	167%	165億円	123%
その他	130億円	91%	46億円	109%	13億円	36%	189億円	86%
合計	722億円	95%	241億円	103%	99億円	97%	1,062億円	97%

* 1 事業利益とは、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除して算出した日本基準の営業利益に相当するものです。

* 2 当期利益＝親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益

* 3 為替レートは、利益に影響を及ぼすヤマハの輸出入決済レートを記載しています。2Q以降為替レート US\$=135円、EUR=145円

* 4, 5, 7 ROE・ROIC・ROAは年換算値

* 6 ROIC＝税引後事業利益÷(親会社の所有者に帰属する株主資本十有利子負債)

* 8 要員数＝期末社員在籍数

* 9 前期比は為替を除いた実質ベースでの前期比増減を表しています。

連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。